



介護老人福祉施設 美さと

統括マネジメント

取組の目的

- ① **職場の労働安全衛生水準を向上させること。**
- ② **職員が安心して安全に働ける職場づくりを行う。**
- ③ **対象者も安全で安心してケアを受けられるようにすること。**

原点回歸

【読み方】 げんてんかいき
【意味】 出発点や基本に戻る事



計画の進捗状況確認



全体周知への検討

具体的手順	期間	担当	
	9月24日	石橋	入会会議時リスクマネジメントの資料（第4ページ～最終STEP）の更新を配布し、参加職員に確認を行う。また、委員会メンバーでウラナドに加入した際の、リスクを共有し、必要となる注意を周知する
	11月26日		1次会議にはドックアップにて委員会材料提供 ①副会長出席無断の確認、委員メンバーの呼びかけを行う。 副会長チェックを各職員に配布する。テストを周知する。
	12月4日	全職員	新職員は各務の順次に入会する。
	12月10日	石橋	副会長に1次委員会分、副会長チェックを受け付け、集計、報告する。 (50点合格とする)
	12月17日～ 12月23日まで		出席していない職員は翌週までテストを行う。（70点合格とする）

理解度チェックの実施（緑本STEP3）

統括マネージャーの役割として
各役割の中心となって年間計画等の作成
毎月のノーフティングケア**委員会**の開催。
(シフト調整、あらかじめ委員会日を設定)
ノーフティングケアへの**意識付け**等を実施。

1年目を振り返り...

- (1)九州芸文館での**フェス参加**をきっかけに
ノーリフティングケアが
始まった。

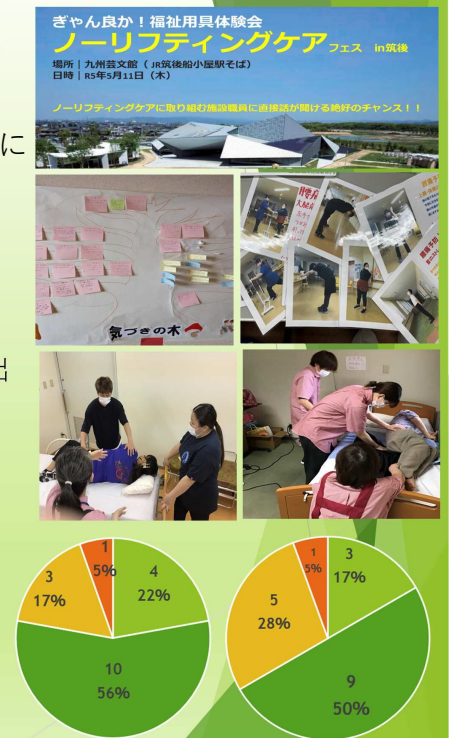
- (2)県のマネジメント研修による勉強会

- 「気づきの木」によるリスクの抽出
- 各箇所に掲載した腰痛予防体操

- ①技術教育担当→②技術研修参加
③職員への教育→④実践

- (3)取組前に腰痛ありの職員が78%
取組後は → 67%

数値という目に見える成功体験



2年目すぐにフレックスボード導入

大好評

種	援助内容			
短期目標	(期間)	テーマ内容	担当者	頻度
早めの離床を 図り、声掛け にて表情を引 出せる	R06.08.0 1~R07.0 1.31	①昼の胃薬1時間前に 離床し、声掛けを行い 、刺激を受ける事で発 語を引出して、穏かに 過ごせる	介護員	昼食前 (離床)
移乗時等、F ボード・2人 介助にて移乗 が出来る	R06.08.0 1~R07.0 1.31	②移乗時等、Fボード 使用と2人介助にて、 随分なく安心・安全に 移動が出来る	介護員	移乗時 Nケア

使用者選定から**ケアプラン**反映



頭まで敷くことが重要



腕任せでなく**体重移動**で



利用者様も**安全に**移乗

- ・施設長より購入
 - ・使用者選定
- プランニング担当より**ケアプラン**へ
技術教育より、レクチャーから実践
(部署異動者、新人職員も対象)
- 現在**7名**、フレックスボード使用
(5名長期入院の為、対象者より外れる)

●個別アセスメント・プランニング

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	長期目標	（期間）	短期目標	（期間）	援助内容				評価対象	詳細な援助内容			
					サービス内容		担当者	頻度		（期間）	ケア項目	担当者	頻度
いつでも声を掛けてもらい、施設に慣れて安心して穏やかに過ごしたい	施設に慣れて安心して穏やかに過ごせる	R06.05.01～R06.10.31	職員から対話を図り、笑顔を引き出す	R06.05.01～R06.07.31	①起床・離床時、声掛け・対話を図り、笑顔を引き出して安心して穏やかに過ごせる	介護員	起床・離床時等	R06.05.01～R06.07.31	☑	・	介護員	随時	05/01～07/31
車椅子に移りたいが力がないように手伝って欲しい	ケガ無く安全に移乗出来る	R06.05.01～R06.10.31	移乗時、Sボード使用と二人介助が行える	R06.05.01～R06.07.31	②リクライニングの移乗時等、Sボード使用と2人介助にて、随時安全に移乗出来る	介護員	移乗時・ソート	R06.05.01～R06.07.31	☑	・	介護員	随時	05/01～07/31



フレックスボード

マスターグライド

・フレックスボード、スライディングボード、リフト対象者のプランニングが徐々に出来ている。

9名

- ・Fボード 7名
- ・Sボード 1名
- ・リフト 1名

・プランニングを元に対象者の実践が出来ている。



福祉用具を購入・導入にあたり、ケアプラン立案・会議・実施

●職員の健康管理

腰痛予防 自己評価表

年 月 日

氏名

下記の質問に記入して下さい。

- 前回の腰痛発症後から現在までの半年間で腰痛はどうなりましたか？該当する番号に○をつけて下さい。
①悪化した ②継続中 ③改善した
- 問①で選択された①②③に対しての理由をお書きください。（具体的に）

- 始業前、後の腰痛予防体操（各フロアに貼っている体操方法）はこなっていますか？該当する番号に○をつけて下さい。
①はい ②いいえ

問②でいいえを選択した方は理由をお書きください（具体的に）

- これからの腰痛予防に対して、自身が取組みたい事や目標をお書きください。（具体的に）



部署異動、新人職員の調査はもちろんの事、前回より腰痛が強くなった職員は面談を実施

ノーリフティング

腰痛予防 看護部マニュアル R6年6月 改正

※必要書類の添付は全て、パソコン内のドキュメント（Dugloo）の中のノーリフティングファイル内にあるノーリフ 看護部 腰痛予防 監修の中に入っています。

<全体の流れ>

上半期

① 6月1日～人事課員全員～腰痛予防と腰痛予防をノーリフ看護部ファイル内より閲覧～コピーし、人事スタッフへ提出日を決めて配布、記入6月10日までに回収を行う。

健康管理マニュアル（※一部抜粋）

新旧（ファイル自体も大きく）

健康管理担当（NS）より年に2回腰痛予防自己評価を実施
各自の目標で、運動・筋トレ・ストレッチ・体操をしたい。介助の姿勢を注意したい。
福祉用具の使い方が慣れていないので学びたい等、記入が増えてきており
腰痛予防に対する意識が少しずつ高まってきている。

●福祉用具管理

利用者の氏名	利用者の氏名
ノーリフティング ラウンドチェックリスト	ノーリフティング ラウンドチェックリスト
（1人での車椅子移乗時）	（2人での移乗時）
R 年 月 日	R 年 月 日
理由・評価	理由・評価
① 居室床の状態 コード等	① 居室床の状態 コード等
② ナースコール	② ナースコール
③ 床頭台	③ 床頭台
④ ベッド欄	④ ベッド欄
⑤ 利用者への声掛け	⑤ 利用者への声掛け
⑥ ベッドの高さ	⑥ ベッドの高さ
⑦ ベッド上 私物等	⑦ ベッド上 私物等
⑧ ベッド上 クッション	⑧ ベッド上 クッション
⑨ ベッドのブレーキ	⑨ ベッドのブレーキ
⑩ リフト等の確認	⑩ リフト等の確認
⑪ 車椅子の位置、角度	⑪ 車椅子の位置、角度
⑫ 車椅子 フットレスト	⑫ 車椅子 フットレスト
⑬ 車椅子 プレーキ	⑬ 車椅子 プレーキ
⑭ 車椅子 アームレスト	⑭ 車椅子 アームレスト
⑮ スタッフのポケットの中 ペン等	⑮ スタッフのポケットの中 ペン等
⑯ 利用者に着た靴の紐が緩い	⑯ 利用者に着た靴の紐が緩い
⑰ 中腰、前傾姿勢ではないか	⑰ 中腰、前傾姿勢ではないか
⑱ 車椅子に移乗した後の利用者の姿勢	⑱ 車椅子に移乗した後の利用者の姿勢
⑲ 利用者の髪型、衣服等身だしなみ	⑲ 利用者の髪型、衣服等身だしなみ



- ◆ 標準型車いす 42台 → 29台
- ◆ リクライニング型 11台 → 12台
- ◆ 機能付き車椅子 6台 → 10台 → 15台
- ◆ ティルト型 7台 → 9台
- ◆ シート 2枚 → 8枚
- ◆ ボード 0枚 → 2枚
- ◆ グローブ 2枚 → 6枚

委員会メンバーでラウンドを実施。

（※ラウンドチェックリストを使用。）

少しずつ、ノーリフティングケアに適した、福祉用具も増えてきている。また取り組みながら福祉用具の点検、管理等の大切さを改めて実感。

●技術教育



委員会時にメンバーに指導



腕任せでなく体重移動で



頭をしっかりと腕に乗せる

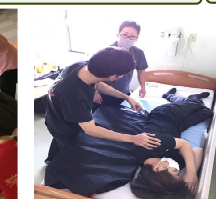
自分に合った高さで調整



まずは体験から



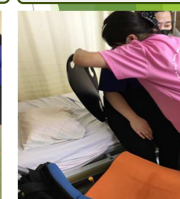
人形でのレクチャー



頭まで敷く事が重要



車椅子の位置に注意



上に抜くのがポイント



山田さんよりレクチャー



グローブ使用した背抜き



ここがまっすぐかな



進行方向に向かって体重移動

●ラウンドによる リスクマネジメント 抽出と解決



毎月ラウンド実施



ポンプホース
10m→7m→3.5m



Before



After ♪



オムツ台車導入



運ぶのが楽に♪



以前は直置き



直置きを改善中

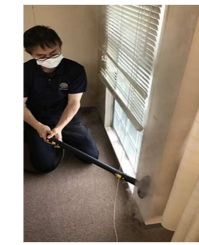
●環境整備



掃除にも意識が向くよう



ベッドフレームも拭き上げ



壁もスチームで綺麗に



定期的な空気点検



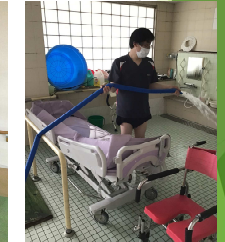
洗濯場も整理整頓



棚作成し、直置き改善



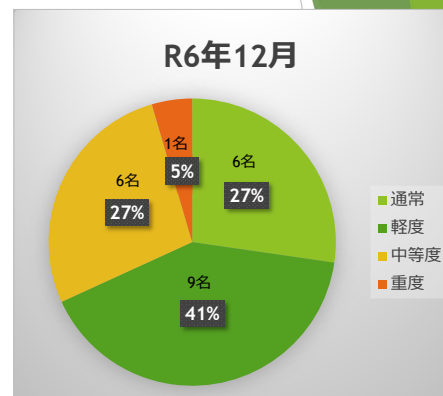
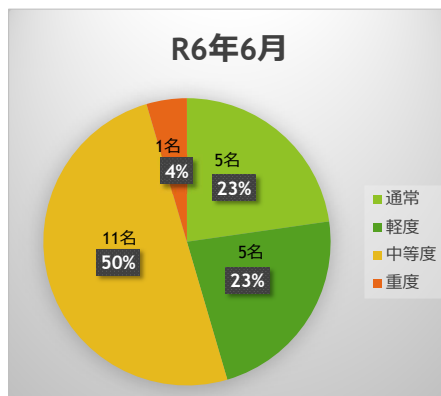
かご購入し、作業効率がUP



ポンプ大活躍中

気づけば、少しずつ現場の **5 S活動** を実施。

2年目のノーリフティングの成果 ～職員の腰痛度合いの結果～



通常もしくは軽度が46%→68% (22% ↑)
中等度または重度が54%→32% (22% ↓)

●今後の美さとのノーリフティングケアへの課題

■継続したノーリフティングケアの意識付け

・部署異動の職員、新人職員などへの説明と理解

■確実なPDCAサイクル (特にCAを回す)

■腰痛予防体操の定着(各自任せ)

■継続したプランニング、説明・同意、実施、評価、改善

■福祉用具・住環境の清掃・点検・修理

■技術面での周知・徹底・向上

皆で協力しながら少しずつ♪ **継続は力なり♪**